



▶ TOPICS

耐用年数超す医療機器

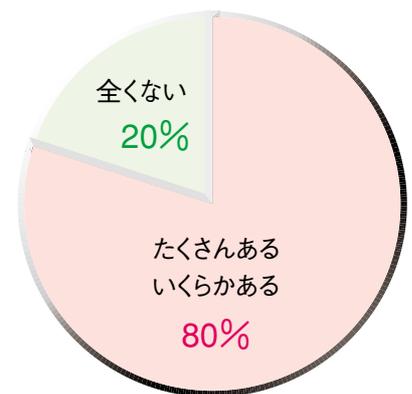
病院の8割 使用

日本医労連は1日、同労連加盟の労組がある病院を対象に調査したところ、輸液用ポンプなどの医療機器に耐用年数を超えて使用しているものがある病院が、8割にのぼっていたと発表した。

調査は今年2～3月に実施、296病院から回答を得た。「耐用年数を超えた医療機器はあるか」との質問に対し「たくさんある」と答えたところが49病院（20.9%）に上り、「いくらかある」を加えると8割に達した。輸液ポンプについては、20年以上使用しているとの回答もあった。

同労連は、「いのちに直結する医療機器で、耐用年数を過ぎたものが少なくないことは、重大な問題」と指摘した。 医労連調べ:医労連ホームページより(2003年9月)

「耐用年数を超えた医療機器はありますか？」



ポンプをご使用いただく上での注意点を、事例に添ってご紹介します。

事例 1 こぼれた輸液剤のふきとりはこまめに！

輸液ポンプを使用して高カロリー輸液を開始したところ、輸液が開始されなかった。

原因

こぼれた高カロリー輸液が付着したまま放置したところ、フィンガー駆動部に固着し、動かなくなった。



対策

- 高カロリー輸液やブドウ糖は乾くとガチガチに固まってしまうため、こぼしたらすぐにふきとる。
- 気泡センサや閉塞センサが固着していると、警報機能が正しく作動しないので、使用前にチェックする。

事例 2 バッテリーは消耗品!!

数年間点検していなかった緊急用輸液ポンプをバッテリーで使用したところ、急に電源が落ちた。

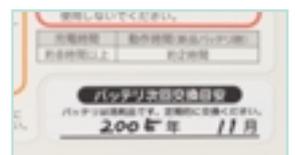
原因

バッテリーは消耗品のため、数年経つと充電時間が短くなったり、充電できなくなる。



対策

- バッテリーは2年を目安に交換する。
- AC電源を必ず併用するようにする。
- 取扱説明書に従ってバッテリーの点検を行う



事例 3 ポンプの転倒に注意!!

輸液ポンプで中心静脈栄養法を実施している患者さんがトイレに移動する際に、スタンドごと転倒してしまった。その時ポンプのドアがはずれ、フリーフロー状態になってしまった。



原因

- 走行状態の悪いスタンドを使用している。
- ポンプの取り付け位置が高く、不安定だった。

対策

- ポンプ用の倒れにくいスタンドを使用する。(5本足・低重心)
- ポンプを過剰に搭載しない。
- 患者様の行動範囲内の再チェック・改善(段差・障害物等)

- ポンプの取り付け位置を低めにする。



事例 4 ポンプ使用前後には、必ず外観チェックを!!

輸液ポンプで昇圧剤を投与しようとし、クレンメを開放し、開始スイッチを押したところ、急に患者の顔面が紅潮し、気分が悪いと訴えた。その直後、警報が鳴った。

原因

輸液ポンプが耐用期間をかなり経過し、劣化や転倒、落下等の衝撃によりドアヒンジにヒビが入っていた。そのため、ドアが完全に閉まらず、フリーフローが起きた。ヒビの箇所が欠けが生じていなかったため、注意してチェックする必要があった。



対策

- 必ず、定期的に点検に出す。
- 耐用期間を過ぎたポンプは特に注意して、ドアヒンジにヒビ等があれば、使用を中止する。

原因

部品の摩耗によりドアを閉めるレバーが中途半端な位置で止まってしまった。そのため、ドアが半開きの状態で完全に閉まっておらず、フリーフローが起きた。



対策

- 開始する前にドアがきちんと閉まっているか、確認する(横からも)。
- ドアのレバーは、必ず90度まで回して確実に閉める。



ポンプを安全にご使用いただくために、必ず定期点検を実施してください。



▶新製品ニュース

これが、セーフティ「新」標準

2003厚生労働省通知対応*



テルモのセーフティ機能

- 間違えにくい入力方式
- AIS機構
- 音声ガイド機能
- 履歴機能
- メンテナンスタイマ



テルフュージョン[®] 輸液ポンプ TE-131

点滴制御タイプ

汎用輸液セット/テルモポンプ専用輸液セット対応

販売名 テルフュージョン輸液ポンプTE-131
医療用具承認番号 21500BZZ00481

*関連企業を対象とした厚生労働省通知「輸液ポンプ等に関する医療事故防止策について」医薬発第0318001号:平成15年3月18日



テルモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
http://www.terumo.co.jp/

©、TERUMO、テルモ、テルフュージョンはテルモ株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社 2003年11月
03T433-1SS10SN0311



古紙配合率100%再生紙を使用しています。